

本資料は、履修に関する理解を助けるために、その概要を記したものである。
厳密な情報については、学生便覧（経営管理研究科）を参照されたい。

一橋大学大学院 経営管理研究科 経営管理専攻 研究者養成コース



履修ガイダンス 2025年度入学者向け

大学院教育専門委員
佐々木将人・中島賢太郎

ビジネススクールの国際認証

◆AACSB

- 1916年にアメリカで設立されたマネジメント教育の代表的な国際認証機関。
- 一橋大学大学院経営管理研究科経営管理専攻（SBA）は2021年7月に認証を取得
 - 日本国内で6校目、国公立大学としては初めて
 - 学部、MBA、研究者養成コースの全てのプログラムについて認証を取得



AACSB
ACCREDITED



経営管理専攻のミッション



WE FOSTER CAPTAINS OF INDUSTRY WHO CREATE VALUE FOR BUSINESS AND SERVE COMMUNITIES IN ASIA.

LEADERSHIP

To educate leaders
with insightful knowledge
and effective communication skills.

INNOVATION

To develop professionals
with creativity
and advanced professional skills.

INTEGRITY

To foster community-minded citizens
who think beyond themselves
and apply global perspectives.



目次

◆修士課程・博士後期課程：共通事項

◆修士課程：修士（商学）

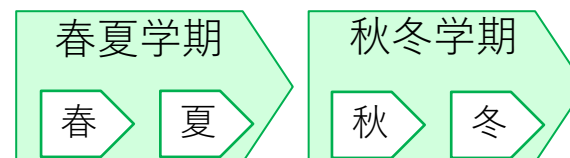
◆博士後期課程：博士（商学）



授業科目について 講義と演習

◆ 1コマ 105分

- 1限 8:45～10:30
- 2限 10:45～12:30
- 3限 13:15～15:00
- 4限 15:15～17:00
- 5限 17:10～18:55



◆ 講義

- 原則として、週1回 半期（春夏学期、秋冬学期） 2単位
- 履修登録しない聴講参加は原則禁止

◆ 演習

- 通年 1科目6単位
- 指定学年で単位を修得できなければ自動的に留年となるので、要注意。

学年暦・時間割について

- ・ 国立の学年暦となる。
- ・ 大学ウェブサイトやCELSにて、各自確認すること。



履修手続き 重要日程

◆ 履修登録

- 春夏学期、秋冬学期のそれぞれ定められた期間内にCELSシステム上で履修登録を行うこと。
- 春夏学期：4月9日（水）～16日（水）
- 秋冬学期：9月12日（金）～19日（金）

◆ 履修撤回期間

- 春夏学期、秋冬学期のそれぞれ定められた期間内にCELSシステム上で履修撤回を行うこと。
- 春夏学期：4月23日（水）～4月29日（火）
- 秋冬学期：9月29日（月）～10月5日（日）
- 履修撤回をしないと「F」になる。

◆ 重複履修の制限

- 単位修得済みの科目を同一課程内に反復して履修することはできない。
 - ・ 担当教員が異なっても重複履修できない。

◆ ※manaba：レポートの提出、テスト・アンケートの回答、資料の閲覧等を行うシステム



守るべき倫理について 「学習と研究に関わる誓約書」への署名

- ◆ 「一橋大学における研究活動に係る行動規範」の遵守を誓約すること。
- ◆ 下記の不正行為を行った場合には厳重な処分を受けることを認識し、当該不正行為及び不正行為と疑われる行為を行わないことを誓約する。
 - 試験におけるカンニング行為
 - 試験、レポート及び学位論文における剽窃・盗用、ねつ造、改ざん
 - ・ 剽窃・盗用：他の研究者等のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者等の了解・適切な表示なく流用すること
 - ・ ねつ造：存在しないデータ、研究結果等を作成すること
 - ・ 改ざん：研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること
 - 授業、試験、レポート及び学位論文におけるなりすまし
 - 研究活動における虚偽記載、二重投稿、研究費の不正使用
 - 授業で使用する資料及び授業内容（動画含む）、大学で提供するデータ、および授業に関するグループワーク等を通じて 他者が関与して得られたアイディア等について、適切な許可を得ずに利用または講評すること
 - その他社会通念に照らして学習と研究に係る不適切な行為
 - 上記の行為への協力及び援助
- ◆ 「学習と研究に関わる誓約書」を熟読し内容を理解した上で、CELSを通じて誓約すること。



守るべき倫理について

研究倫理教育eラーニング eAPRIN受講

- ◆ 大学院における研究倫理を周知・徹底させるために、公正研究推進協会提供の研究倫理教育eラーニング eAPRINの受講を義務付けている。
 - 大学メールアカウント宛てに受講案内が届く予定なので、速やかに受講すること。
 - 受講状況は事務室で確認可能。
 - 受講しなかった場合、翌年度の履修登録ができなくなる可能性がある。



その他

◆ 諸連絡について

- 事務的な諸連絡は、大学のメールアドレス宛に送信される
- 授業期間中か休業期間中かにかかわらず、必ず定期的に確認すること

◆ 事務室への問い合わせ

- 証明書の発行などに関する問合せについては、国立キャンパス法人本部棟3階の経営管理研究科事務室に連絡すること
- 証明書の発行には1週間ほど要する場合があるので、早めの連絡を心がけられたい



目次

◆修士課程・博士後期課程：共通事項

◆修士課程：修士（商学）

◆博士後期課程：博士（商学）



修了要件の満たし方 履修パターン

単位	修士課程		
2	演習(1年)		
4			
6			
8	演習(2年)		
10			
12			
14	所属専攻講義科目①		副演習(1年)
16	所属専攻講義科目②		【所属専攻講義相当】
18	所属専攻講義科目③	大学院科目 (他研究科も可)①	副演習(2年) 【所属専攻講義相当】
20	所属専攻講義科目④	大学院科目 (他研究科も可)②	
22	所属専攻講義科目⑤	大学院科目 (他研究科も可)③	
24	所属専攻講義科目⑥	大学院科目 (他研究科も可)④	
26	所属専攻講義科目⑦	大学院科目 (他研究科も可)⑤	学部発展科目 (他学部も可)①
28	所属専攻講義科目⑧	大学院科目 (他研究科も可)⑥	学部発展科目 (他学部も可)②
30	所属専攻講義科目⑨	大学院科目 (他研究科も可)⑦	学部発展科目 (他学部も可)③
32	所属専攻講義科目⑩	大学院科目 (他研究科も可)⑧	学部発展科目 (他学部も可)④

◆ 合計32単位以上（演習12単位、講義20単位以上）

- うち、所属専攻から16単位以上
 - ・ ただし、演習で12単位分が埋まるので、所属専攻から講義4単位分で満たせる。

◆ 副演習

- 所属専攻の講義科目として、毎年度4単位まで算入可能。
- 履修登録前に、担当教員からの承認を得ること。

◆ 学部発展科目

- 一部制限があるが履修可能。
- 学部単位数に準じて、8単位まで算入可能

大学院・学部共修科目の履修登録に関する注意事項
 同じ授業を登録する場合でも、「時間割コード」を大学院時間割から引用した場合は、大学院科目として登録され、学部時間割から引用した場合は、学部科目として登録される。学部科目として登録した場合は8単位までしか修了要件に算入できないため、大学院科目としての履修登録を推奨する。

プログラム間の履修可否について

科目分類		学生所属	修士課程				博士後期課程			5年一貫 学部4年次		交流学生・研究生	(他研究科院生 （非正規生含む）)
科目区分	科目番号		研究者養成コース	経営学修士コース 経営分析プログラム	経営学修士コース 経営管理プログラム	金融戦略・経営財務プログラム	研究者養成コース	イノベーション・マネジメント・プログラム	金融戦略・経営財務プログラム	研究者養成コース	経営学修士コース 経営分析プログラム		
大学院	研究者養成コース科目	400～800番台	○	△(※1)	△(※1)	△	○	△(※7)	△	○	△(※1)	△	△
	研究者養成コース イノベーション・マネジメント・プログラム科目	600・800番台	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
	経営学 修士 コース	経営分析P科目	400・500番台	×	○	×	×	×	×	×	○	×	△(※5)
		経営管理コア科目、演習	500番台	×	×	○	×	△	×	×	×	×	×
		経営管理P選択科目	500番台	×	★(※1)	○	×	○	×	×	×	×	△(※5)
		FSプログラム基礎科目	500・600番台	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×
		FSプログラム演習	500・800番台	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×
		FSプログラム専門科目、副演習	500・600番台	■	■(※1)	■(※1)	○	■	×	○	×	×	■
		ICS専攻科目	500・600番台	■	■(※1)	■(※1)	●	■	×	●	×	×	×
	法学研究科ビジネス・ロー専攻基本科目、発展科目	500・600番台	×	×	△(※1)	△	×	×	△	×	×	×	△
	他研究科科目	400～800番台	△	△(※1)	△(※1)	△	△	△(※1)	△	△	△(※1)	◆	
学部	全学共通科目 ^(※6)	100～300番台	×	×	×	×	×	×	×			○	
	商学部	導入科目	100番台	×	×	×	×	×	×			△(※4)	
		基礎科目	200番台	×	×	×	×	×	×			○	
		発展科目	300番台	○	○(※1)	○(※1)	×	×	×	×		○	
	他学部	導入科目	100番台	×	×	×	×	×	×			◆	
		基礎科目	200番台	×	×	×	×	×	×			◆	
		発展科目 ^(※2)	300番台	△	△(※1)	△(※1)	×	△	×	×		△	
	HGP科目(含む国際交流科目)	100～300番台	△(※3)	△(※1・3)	△(※1・3)	×	△(※3)	×	×			○	
	ゼミナール	800番台	×	×	×	×	×	×	×			△	

○：履修可

△：一部を除き履修可（他学部・研究科科目を履修する場合は、学部履修規則や当該研究科の規則等を確認のこと）

■：当該科目を設置する専攻長の承認が必要
×：履修不可

(※1) 履修できるが、修了要件に必要な単位数には含まれない

(※3) 導入科目（100番台科目）及び基礎科目（200番台科目）は履修不可

成績評価について

◆ 試験

- 学科試験（講義の試験）
 - ・ 教員ごとに試験日や課題提出期限を定める場合があるので要注意。
- 論文試験
 - ・ 主論文×1部、写し×2部、要旨×3部 ※変更の可能性あり
 - ・ 研究指導教員（後述）以外2名が審査
- 最終試験（口頭試問）

◆ 成績

- 講義： A+、A、B、C（以上が合格）、F（不合格）
- 演習： E（合格）、F（不合格）
- 論文試験： A+、A、B、C、F
- 最終試験： A+、A、B、C、F
- 履修撤回をしないと「F」になる 参考

修了年月	2025年9月	2026年3月	2025年9月（予定）
題目提出	2025年4月1日（火）	2025年11月28日（金）	2026年4月1日（水）
学位申請論文提出 （申請時）	2025年5月9日（金）	2026年1月8日（木）	2026年5月8日（金）
学位申請論文提出 （最終時）	2025年6月30日（月）	2026年2月13日（金）	2026年6月30日（火）

注：履修期間が2年を超える場合、修了要件を満たせば9月修了を選択することもできる。

目次

◆修士課程・博士後期課程：共通事項

◆修士課程：修士（商学）

◆博士後期課程：博士（商学）



修了要件

◆合計20単位以上

- 「研究領域演習」 18単位
- 「研究倫理と論文作法」 2単位

◆研究指導

- 正規の科目ではなく、研究指導教員との間で個別に行われる研究指導。
- 但し、研究指導教員による定期的・継続的な研究指導を受けていることが、博士学位論文計画書（プロポーザル）提出の前提条件となる。
- 定期的・継続的な研究指導を受けることから、研究指導教員と相談の上、修士課程の「演習」の履修登録を推奨する。

研究領域演習

- ◆ 各研究領域（経営・イノベーション・マーケティング・会計・金融）に所属する博士課程の大学院生を対象に、ワークショップ形式で行われる演習科目。
- ◆ 研究領域演習を担当する教員を演習指導教員と呼ぶ（年度により担当教員が変更する可能性あり）。
- ◆ 原則として、研究指導教員（後述）が所属する研究領域の研究領域演習を履修すること。
- ◆ 履修登録前に、演習指導教員及び研究指導教員からの承認を得ること。
- ◆ 他研究領域の研究領域演習を「研究領域副演習」として履修できる。4単位が付与されるが、修了要件には含まれない。

経営管理研究科 経営管理専攻 修士課程・博士後期課程 研究者養成コース			
商学研究科経営・マーケティング専攻		商学研究科 会計・金融専攻	
経営		会計	
田中一弘	教授	× 佐々木 隆志	教授
加藤俊彦	教授	× James Routledge	教授
西野和美	教授	角ヶ谷 典幸	教授
島本実	教授	中野 誠	教授
藤原雅俊	教授	福川 裕徳	教授
鎌田裕美	教授	荒井 耕	教授
坪山雄樹	准教授	加賀谷 哲一	教授
福地宏之	准教授	円谷 昭	教授
佐々木将人	准教授	青木 康晴	教授
中村英仁	准教授	河内山 拓磨	准教授
酒井 健	准教授	石田 惣平	准教授
朱 曦	准教授		
高田直樹	講師		
イノベーション		金融	
※ 江藤 学	特任教授	※ 篠田 義勝	教授
青島 矢一	教授	※ 小西 俊夫	教授
軽部 大	教授	◆ 文 敏	教授
中島 賢太郎	教授	台 坂 博	教授
カン ビョンウ	教授	中 村 恒	教授
吉岡 (小林) 徹	准教授	安 田 行宏	教授
▲ Padrón Hernández Iván	講師	熊 本 方雄	教授
		齊 木 吉陸	教授
		小 林 健太	教授
		畑 宏明	教授
		篠 原 克寿	教授
		鈴 木 雅貴	准教授
マーケティング			
◆ 山下 裕子	教授		
鷺田 祐一	教授		
福川 恭子	教授		
松井 剛	教授		
上原 涉	教授		
岡本 純也	准教授		

- ※ 2025年度新入生の演習（研究指導）を担当しない
- ◆ 2025年度修士課程の演習は受入れるが、博士後期課程の研究指導の受入れは行わない
- × 2025年度の演習（研究指導）を担当しない
- △ 2024年度に論文指導を受けていた学生に限り演習（研究指導）を継続履修できる
- ▲ 副演習のみ担当する

講義科目

◆ 「研究倫理と論文作法」 必修2単位

- 今年度は春・夏学期木曜日3時限に開講

◆ その他講義科目

- 博士後期課程の講義科目（600番台）は、「研究倫理と論文作法」以外は、原則、開講されない
- 必要な場合には、修士課程講義科目（400、500番台）を登録し履修すること。但し、これらの科目は修了要件には含まれない



研究指導

- ◆ 正規の科目ではなく（したがって単位はつかない）、研究指導教員との間で（個別に）行われる研究指導。
- ◆ 実施形態は、研究指導教員に依存する。
 - 修士課程の「演習」やD3の「演習（PhD）」と合同で行われるケース、個別に行われるケース等が考えられる。
- ◆ 研究指導教員による定期的・継続的な研究指導を受けていることが、博士学位論文計画書（プロポーザル）を提出する前提条件となる
- ◆ 研究指導を担当する教員を研究指導教員と呼ぶ。研究指導教員は、論文指導委員会の主査となる。
- ◆ 定期的・継続的な研究指導を受けることから、**修士課程の「演習」の履修登録を推奨する**。但し、登録すべきかどうかについては研究指導教員に相談すること。登録した場合、単位は付与されるが、修了要件には含まれない。
- ◆ 他の教員（論文指導委員会の副査等）からの論文指導を希望する場合には、当該教員の修士課程「副演習」を登録することもできる。但し、登録すべきかどうかについては当該教員に相談すること。登録した場合、単位は付与されるが、修了要件には含まれない。



プログラム間の履修可否について

科目分類		学生所属	修士課程				博士後期課程			5年一貫 学部4年次		交流学生・研究生	他研究科 院生 (非正規生含む)	
科目区分		科目番号	研究者養成コース	経営学修士コース 経営分析プログラム	経営学修士コース 経営管理プログラム	金融戦略・経営財務プログラム	研究者養成コース	イノベーション・マネジメント・プログラム	金融戦略・経営財務プログラム	研究者養成コース	経営学修士コース 経営分析プログラム			
大学院	研究者養成コース科目	400~800番台	○	△(※1)	△(※1)	△	○	△(※7)	△	○	△(※1)	△	△	
	研究者養成コース イノベーション・マネジメント・プログラム科目	600・800番台	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	
	経営学 修士 コース	経営分析P科目	400・500番台	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	△(※5)
		経営管理Pコア科目、演習	500番台	×	×	○	×	×	△	×	×	×	×	×
		経営管理P選択科目	500番台	×	★(※1)	○	×	×	○	×	×	×	×	△(※5)
		FSプログラム基礎科目	500・600番台	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×
		FSプログラム演習	500・800番台	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×
		FSプログラム専門科目、副演習	500・600番台	■	■(※1)	■(※1)	○	■	×	○	×	×	×	■
		ICS専攻科目	500・600番台	■	■(※1)	■(※1)	●	■	×	●	×	×	×	×
	法学研究科ビジネス・ロー専攻基本科目、発展科目	500・600番台	×	×	△(※1)	△	×	×	△	×	×	×	△	
他研究科科目	400~800番台	△	△(※1)	△(※1)	△	△	△(※1)	△	△	△(※1)	◆			
学部	全学共通科目(※6)	100~300番台	×	×	×	×	×	×	×			○		
	商学部	導入科目	100番台	×	×	×	×	×	×	×			△(※4)	
		基礎科目	200番台	×	×	×	×	×	×	×			○	
		発展科目	300番台	○	○(※1)	○(※1)	×	×	×	×			○	
	他学部	導入科目	100番台	×	×	×	×	×	×	×			◆	
		基礎科目	200番台	×	×	×	×	×	×	×			◆	
		発展科目(※2)	300番台	△	△(※1)	△(※1)	×	△	×	×			△	
	HGP科目(含む国際交流科目)	100~300番台	△(※3)	△(※1・3)	△(※1・3)	×	△(※3)	×	×			○		
ゼミナール	800番台	×	×	×	×	×	×	×			△			

○：履修可

△：一部を除き履修可（他学部・研究科科目を履修する場合は、学部履修規則や当該研究科の規則等を確認のこと）

■：当該科目を設置する専攻長の承認が必要
×：履修不可

(※1) 履修できるが、修了要件に必要な単位数には含まれない

(※3) 導入科目（100番台科目）及び基礎科目（200番台科目）は履修不可

成績評価について

◆ 試験

- 学科試験（講義の試験）
 - ・ 教員ごとに試験日や課題提出期限を定める場合があるので要注意。
- 論文試験
 - ・ 主論文×1部、写し×3部、要旨×4部
 - ・ 研究・論文指導教員2名を含む3名が審査
- 最終試験（公示・公開の口述試験）
 - ・ 最終試験合格後に主論文（1部）および電子データ（論文と要旨）を改めて提出する。

◆ 成績

- 講義： A+、A、B、C（以上が合格）、F（不合格）
- 演習： E（合格）、F（不合格）
- 論文試験： E（合格）、F（不合格）
- 最終試験： E（合格）、F（不合格）
- 履修撤回をしないと「F」になる

参考

修了年月	2025年7月	2026年3月	2026年7月（予定）
題目提出	2025年4月1日（火）	2025年11月28日（金）	2026年4月1日（水）
学位申請論文提出 （申請時）	2025年5月9日（金）	2026年1月8日（木）	2026年5月8日（金）
学位申請論文提出 （最終時）	2025年6月30日（月）	2026年2月13日（金）	2025年6月30日（火）

注：履修期間が3年を超える場合、修了要件を満たせば7月修了を選択することもできる。

博士學位論文提出のプロセス

- ◆ 博士課程1年
- ◆ 博士課程2年
 - 4月末：論文指導委員会「設置」報告
 - 11月末：論文プロポーザル審査「合格」報告
- ◆ 博士課程3年
 - 11月末：論文題目等届
 - 1月上旬：学位申請論文提出
 - 1月中旬～2月上旬：論文試験、最終試験（口述試験）
 - 2月中旬学位論文(最終版)提出

研究指導



特別研究員制度について

- ◆ 「特別研究員」とは日本学術振興会が研究者の養成・確保のために行っている事業です。
 - 大学院博士課程在学者等で、優れた研究能力を有し、大学等で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する制度です。
- ◆ 「特別研究員」に採用されることで、国の競争的研究費である科研費の1種目である特別研究員奨励費、および生活費としても使用可能な研究奨励金の受給が可能となります。
 - また 研究者志望の大学院学生にとっては、大学院修了後のキャリアパスにもプラスの効果があります。
- ◆ 博士後期課程の新入生の方には DC2 の応募資格がありますので、興味のある方は指導教員に相談すると共に掲載資料や学振のウェブサイトを確認してください。